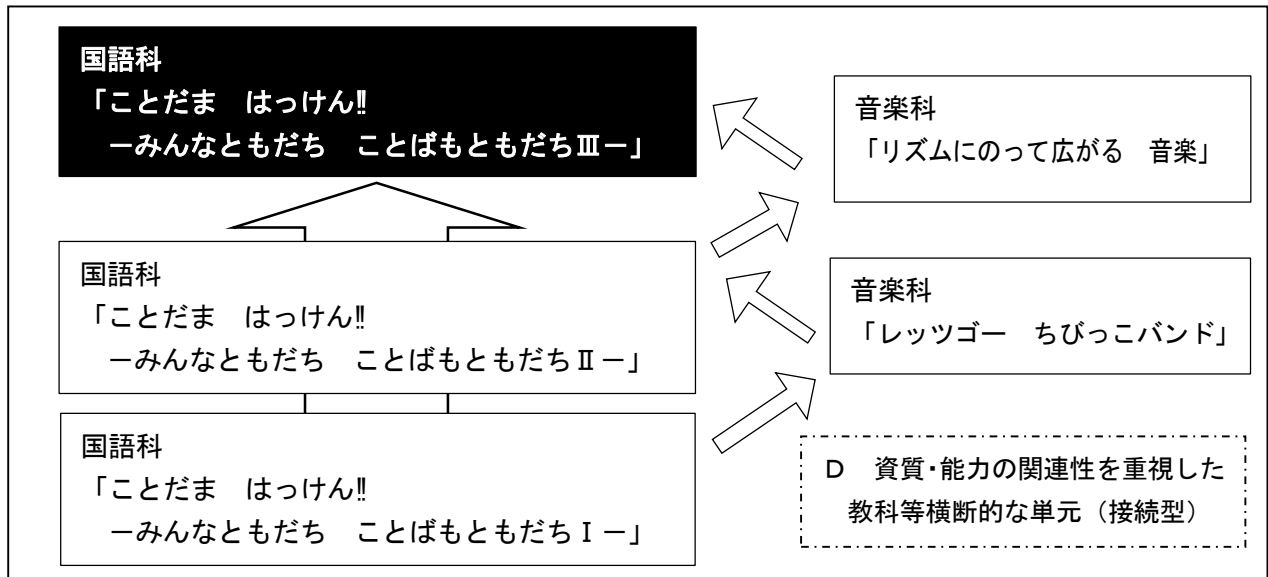


第2学年星組 国語科（+音楽科）

「ことだま はっけん!!-みんなともだち ことばもともだちⅢ-」

指導者 吉岡 亜紀子

1 単元全体構想図



2 単元構想について

本学級の子どもは、日頃から詩や物語に親しみ、進んで音読や群読に取り組んでいる。昨年度は、松山市主催の群読コンクールにも参加した。このコンクールで大勢の人の前で群読を披露し、声を響かせることの心地よさを味わったことは、子どもの読むことへの〈自己効力感〉を高めることとなった。この〈自己効力感〉を生かし、学びを發揮する場を設定することで、更にとくさんの言葉と出会い、楽しんで読むことができるようにしたいと考え、本単元を構想した。

本単元は、国語科と音楽科との資質・能力の関連性を重視した教科等横断的な単元である。

育てたい資質・能力は、「語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する力」「文章を読んで感じたことや分かったことを伝え合い、共有する力」「言葉が持つよさを感じ、楽しんで読もうとする態度」である。子どもの興味・関心に応じて学習材を選び、経験と言葉をつなぎながら読むことと、群読を通して言葉のリズムを味わうことでこれらの力を育む。

中心となる言語活動は、群読である。本学級では、子どもと話し合い、「言霊」は「言葉の力」ということを共通理解した。「言霊を発見する」という目的意識を基に群読をすることで、言葉を大切にしようという気持ちを高めることができると考えている。

学習材は「雨ニモマケズ」と「ゆきがふる」である。宮沢賢治の「雨ニモマケズ」は、メディアに多く取り上げられている有名な文章であり、幼児期から聞いたり、口ずさんだりした経験を持つ子どもが多い。冒頭の「雨ニモマケズ 風ニモマケズ」や終末の「ソウイウモノニ ワタシハナリタイ」という言葉の響きが力強く、魅力的な文章である。また、短い文で構成されており、歯切れのよい言葉が繰り返されるので、容易に言葉が持つリズムが捉えられる。難しい言葉もあるが、日常生活で使っている言葉を手掛かりに自分の経験と言葉をつなぎながら読んだり、群読しながら作品の持つよさを体感させたりすることもできる。まど・みちおの「ゆきがふる」は、繰り返しが多く、言葉のリズムを強く感じる詩である。二つの作品を並行して扱うことは、自然の様子を思い浮かべながら豊かに読むことにつながる。また音楽科で培う、「リズムによって歌いながら音の響きを味わったり、躍動するリズムを感じたりする力」と関連させることにより、言葉のリズムの楽しさを感じさせていきたい。

群読練習では、言葉を大切にしながら読むことや、自然の様子が伝わるように表現することを心掛けさせる。そのために映像を活用し、自分たちの表現を振り返り、表現力の高まりを自覚させるだけでなく、

一人ではできない表現が、友達と一緒になら実現できる心地よさや、友達と声でつながっていくことの楽しさを十分に感じさせていく。3月に行われる群読コンクールへ参加できることも知らせ、自分たちの群読を地域へ発信するという意識を持たせることで、日頃から進んで音読をしようという意欲を継続させていきたい。

3 単元のねらい

- 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。
- 文章の内容と自分の体験を結び付けて考えたことや、群読のアイデアを友達と共有しながら、自分たちらしい群読の仕方を考える。
- 群読の楽しさを味わい、進んで読もうという思いを持つ。

4 単元の展開（全7時間）

場面	子どもの課題意識と主な学習活動	評価の規準	時間
出合い	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">群読コンクールに参加しよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 群読のイメージを持ち学習目標を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 群読への意欲が高まっている。 ● 自分に合った学習目標を立てている。 	2
追究	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">言霊が感じられるような群読をしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ リズムよく読むためにはどうしたらよいか考えながら、「ゆきがふる」を群読する。 ○ 「雨ニモマケズ」を文章の内容と自分の体験を結び付けながら読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章の内容と自分の体験を結び付けて考えたことや群読のアイデアを共有している。 ● 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 ● 言葉のリズムが持つよさを感じながら、楽しく読んでいる。 	4 本時 その3
振り返り	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">群読を振り返ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年群読発表会を行い、言霊について感じたことを話し合う。 ○ 学習全体を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読しながら、言葉のよさや面白さを見付けている。 ● 群読の感想を伝え合っている。 ● 振り返りながら、これからも群読を楽しもうという思いを持っている。 	1

5 単元における指導の工夫

場面	三つの場面ごとの子どもと「つなぐ」指導の工夫（学習材・他者・自分自身）
出合い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外で活動して季節を感じたり、映像を見たりしながら群読のイメージを持たせることにより、進んで群読しようという意欲を高める。（学） ・ 個に応じた学習目標を具体的に設定させる。（自）
追究	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器を活用しながら、リズムを感じて楽しく読むことができるようにする。（学） ・ ワークシートを活用し、文章の内容と自分の体験を結び付けながら読んだり、伝え合ったりすることができるようにする。（学・他） ・ 自分たちの群読の映像を見て振り返る時間を設定し、自分たちらしい表現を探することができるようにする。（他）
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年群読発表会を通して、群読の楽しさを味わわせる。（自） ・ 学習を振り返りながら、これからも友達と一緒に群読を楽しもうという思いを高める。（自）

6 評価の具体的な方法

(1) 「出会い」の場面

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
視点			群読をしようという意欲が高まっているか。
方法			学習目標 様態
目指す姿			<p>詩に興味を持ち、進んで群読をしようという思いを持っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工夫しながら読みたい。 ・ 声を合わせて読みたい。 <p>学習の見通しを持ち、自分に合った学習目標を設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉を大切にしながら読もう。 ・ リズムよく読むことができるようにしよう。

(2) 「追究」の場面

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
視点	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて読んでいるか。	文章の内容と自分の体験を結び付けて考えたことや群読のアイデアを伝え合い、共有しているか。	言葉のリズムが持つよさを感じながら、楽しく読んでいるか。
方法	様態	発言 様態	自己評価 (数値 記述) 様態
目指す姿	<p>言葉の響きやリズムに気を付けて読んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リズムにのって群読できるようになった。 ・ 声がそろって楽しい。 	<p>進んで考えを伝えたり、友達の考えを聞いて考えたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうやって読むといいかよく考え、友達に伝えた。 ・ 友達のアイデアのよさが分かった。アイデアを合わせると自分たちらしい群読にすることができた。 	<p>振り返りの評価が高く、進んで群読練習に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉の素敵ところが伝わるような群読ができるようにたくさん練習したい。 ・ もっとリズムにのって群読できるようになりたい。

(3) 「振り返り」の場面

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
視点	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて読みながら、言葉のよさや面白さを見付けているか。	群読をして感じたことや分かったことを伝え合い、友達と共有している。	群読の楽しさを味わい、これからも読みたいという思いを持っているか。
方法	様態 記述	記述 発言	自己評価 (数値 記述) 様態
目指す姿	<p>群読をしながら見つけた言葉のよさや面白さを伝え合い、記述している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉を大切にしながら音読すると書いてあることがよく分かってきた。 ・ 言霊を見付けることができた。 	<p>言葉の響きやリズムを味わうことの楽しさを伝え合っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と話し合いながら練習をしてよかった。 ・ 言霊が伝わるような群読ができた。 	<p>単元全体を振り返りながら、群読の楽しさや言葉のよさが分かり、群読への意欲が高まっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなと楽しく読んで群読が上手になった。これからも進んで読みたい。

7 本時の授業（5／7）

(1) 日時 令和2年1月31日（金）9:30～10:15

(2) 場所 2年星組教室

(3) ねらい

- 友達とアイデアを伝え合いながら、自分たちらしい群読の仕方を考える。
- 言葉のリズムが持つよさを感じながら、楽しく読む。

(4) 準備物 ビデオ、群読台本、評価カード

(5) 展開

学習活動	予想される子どもの意識の流れ	指導（○）と評価（●）
1 本時の学習目標を立てる。	<p>言霊が伝わるようにするにはどうすればいいかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉を大切にしながら群読するといい。 ・優しく読んだり、強く読んだりすると言葉の力が伝わる。 ・言葉のよさが伝わるようにする。 	<p>○ 自分たちの映像を見て振り返り、言葉のリズムを大切にしながら群読しようという意欲を高める。</p>
2 グループに分かれて、読み方を考える。	<p>自分たちらしい群読にしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えを聞こう。もっといい群読の仕方を見付けよう。 ・ぴたっと息を合わせよう。 ・リズムにのって群読しよう。 ・遠くまで言葉を響かせるようにしよう。 	<p>○ 必要に応じて動画を撮影し、考えたことがうまく群読に反映できるかどうか確かめさせる。</p>
3 全体で話し合ったり声に出して確かめたりする。	<p>アイデアを生かしながら群読しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のグループからはどんなアイデアが出たのかな。 ・だんだん大きくするといい。やってみるよ。 ・テンポを変えると詩に合うと思う。 ・そろわないよ。友達の声をよく聞こう。 ・声の出し方を変えてみよう。 ・賢治さんの強さや優しさが伝わるようにしたいな。 	<p>○ 友達の考えを受け止めながら伝え合うように声を掛ける。</p> <p>● 友達とアイデアを伝え合いながら、自分たちらしい群読の仕方を考えているか。 [発言・様態]</p> <p>● 言葉のリズムが持つよさを感じながら、楽しく読んでいるか。 [自己評価・様態]</p>
4 本時を振り返り、次時への見通しを持つ。	<p>発表会で群読の楽しさを伝えたいな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで考えたから、言葉の意味が分かった。 ・前より上手になってきて嬉しい。 ・友達がいろいろなアイデアを出してくれたから、よかった。 ・もっと練習して上手になりたいな。コンクールで言霊を伝えたいな。 ・1年生にも教えてあげたい。 	<p>○ 活動を振り返らせながら、頑張りを称揚し、発表会への意欲を高める。</p>

